

# オンライン上での交流の場を！

2020年度FD/SD研修 Aグループ

---

田中、藤田、藤原、森田、李

2021年1月18日

# 目次

---

◆◆◆取り上げる課題とそれに対する解決策の内容

◆◆◆解決策の運用方法と懸念点

◆◆◆10年後に得られる効果/利点

◆◆◆まとめ

## ◆考えられる関西大学の課題

大学業界、関西大学が抱えている課題

- ・対面授業時の方法をそのままオンライン授業に落とし込む教員が多く、受講者である学生には、混乱を生む場合が多々ある。
- ・教員・職員・学生の三者間の情報共有が不足している。
- ・文理融合等の分野横断的な教育の推進が必要とされている。 ...etc

# ◆取り上げる課題と解決策

学内構成員(教員・職員・学生)間での情報共有がうまくなされていない。



- 情報ツールの分散
- 重要な情報と一般的な情報が混在



関西大学構成員向けアプリ  
“Fun in finding”

# ◆現状の課題と解決策

現在の主要情報発信・共有媒体であるインフォメーションシステムの課題

- ・学生にとって毎回アクセスして、情報確認することが面倒or手間がかかる
- ・情報の優先順位が分かりづらく、結局情報確認すらされないことがある。
- ・一方通行(教員→学生、職員→学生 etc..)の情報共有
- ・学生間、教職員間の交流が少ない(特に遠隔授業の環境において)

# /// 現状の課題と解決策

【提案】関西大学における情報共有のニューノーマル

“Fun in finding”

… 関西大学構成員のための、情報発見ツール



## アプリにするメリット

携帯電話・スマートフォンで  
気軽に利用できる！

通知機能により、  
大切な情報を見逃すことなし！

# ◆現状の課題と解決策

【提案】関西大学における情報共有のニューノーマル

学内マップを活用したポップアップ情報発信機能



現在地(●)付近のあらゆる情報が出る。

アカウント登録すれば、自身の時間割や参加予定イベントとも連動させることが可能。

学生

他学部の学生とつながり

留学好き集まれ!

現在参加者 86人

皆の留学テーマについて、共有しましょう。

ボランティア活動  
興味ある?

現在参加者 150人

ボランティアのおもしろさについて、語りませんか?

履修相談会!

現在参加者 50人

般教に関して、情報交換しましょう。

# ◆現状の課題と解決策

【提案】関西大学における情報共有のニューノーマル

## 教員

学生・他教授との連携強化・交流促進

### 田中ゼミ連絡会

水曜日のゼミは、  
以下の課題を  
持ってきてください。

了解です。

わかりました。

どれですか？

SDGsに興味ある  
教員で議論しましょう。

本日のセッション  
13:00～14:00

テーマ  
「大学ならではの  
SDGs推進とは。」

## 職員

タイムライン機能で、取組み周知を強化

### 学内の情報掲示板

From 総務課  
11月27日に防災Dayを開催し  
ます！詳しくはこちら.....  
<http://iusdiuahdiuhsh.com>

From 奨学金グループ  
今月の奨学生対象のイベント  
一覧はコチラ.....  
ご確認ください！

学生が気軽に学内の  
取組みに関する情報を  
キャッチしに行くことが  
可能になる。

検索履歴等から  
おすすめのイベント情報を  
カスタマイズして表示する。



# ◆解決策の運用方法と懸念点

【運用方法】学内者向けでありながら、学外者も一部使える仕様

## 学内者

アカウント登録することで、時間割登録・イベント登録・個人伝言などすべての機能を利用できる。

## 学外者

アカウント登録はできないが、教室アクセス機能は利用できる。  
(アプリを知らない人でも、学内案内表示のQRコードを読み込むことで  
教室アクセス機能の利用が可能)



# ◆解決策の運用方法と懸念点

【懸念点】アプリダウンロードという心理的ハードルとプライバシーの確保等

## 心理的ハードル

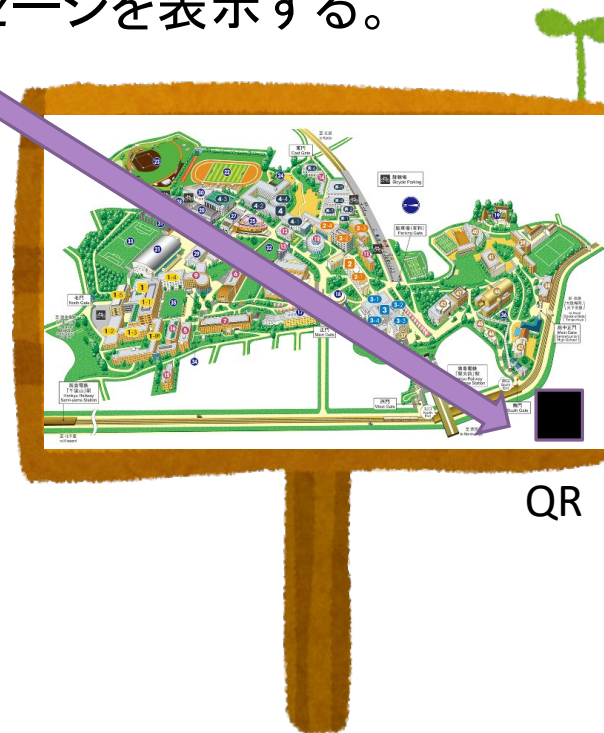
学内案内表示のQRから教室アクセスを利用した際に、画面上に「関大生にはアカウント登録でさらに便利が機能が！」などのメッセージを表示する。

## プライバシーの確保

- ・アカウント登録時パスワード登録を必須とする。(定期的なPW変更の推奨)
- ・不正ログインが確認された場合は、大学側で制御可能にしておく。
- ・どこまでの内容をアプリ上に掲載するか of 基準が必要
- ・私的利用や本来の目的から逸脱した利用を防ぐため、教員・職員・学生の交流に際するルール作りが必要

## ツールの実現性

- ・アプリ開発においては専門業者に依頼する必要がある。
- ・アプリの運用を担う部署(又は委託)を決める必要がある。



QR

# ◆10年後に得られる効果/利点

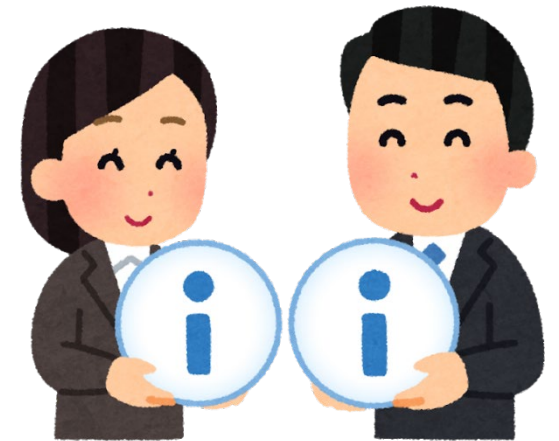
10年後、関西大学が以下のような大学になることができる。

## 学生間の文理融合が盛んに

学生が気軽に他の学部の学生と交流できることにより、学習以外の共通の事柄からつながり、お互いの学習分野について知り、協働し総合大学の強みを最大限に発揮する大学

## 教員、職員、学生の一体感が増す

関西大学を構成する三者が連携・協働することで、教育環境の改善や研究の発展に繋がられる。



# ◆まとめ

---

学内の情報共有不足の解消のためには、主に以下の3点を包含する解決策が必要

- ①スムーズな情報発信ツール
- ②カジュアルにログインできる媒体を用いたツール
- ③教員・職員・学生の三者にとって「使う意味」があるツール

関西大学独自のアプリを作成し、学内構成員間の双方向の情報発信・共有を可能にする。

 **教育環境改善・発展**

---

ご清聴、誠にありがとうございました。

